

永源寺のアシタバ 青汁に

農業法人栽培 メーカー商品化



アシタバの栽培に励む「永源寺マルベリー」のスタッフたち(東近江市で)

薬用植物などの無農薬、有機栽培と加工、販売に取り組んでいる農業生産法人・永源寺マルベリー(東近江市永源寺高野町)で2014年から生産している薬草「アシタバ」を使った青汁が、今年、大手健康食品メーカーから商品化された。栽培を支えるのは60歳以上が大半で、最高齢は89歳。新商品が世に出たことで、シニア世代の働く意欲に一段と弾みがついている。
(西堂路綾子)

永源寺マルベリーは04年に6人で発足。10畝の耕作放棄地を転用して、血糖値を下げる効果があるとされるクワなどを栽培し、クワ茶や青汁といった健康食品

を販売してきた。

クワの収穫が安定し、吉澤克美代表(76)が「次なる一手」として選んだのがアシタバ。「今日摘んでも明日また芽を出す」といわれるほど生命力が強いとされ、ポリフェノールの一種「カルコン」をはじめ、ビタミンB群、C、E、カルシウムや鉄などの栄養素を豊富に含む。

ただ、アシタバは原生する伊豆諸島の八丈島や三宅島など以外では栽培が難しいとされ、当初はうまく育たなかった。島へ視察を重ね、暑さや強い日差しを避けるために日陰を作ったり、シートで土を覆ったりするなど、試行錯誤を繰り返した。数年かけてアシタバ畑を3畝まで広げ、年間約70トを生産できるようになり、17年には農林水産省の有機JAS(日本農林規格)

最高齢89歳 働く意欲に弾み

格)認定を受けた。その品質と安定した生産量に、大手健康食品メーカー「DHC」(東京都)が着目し、新しい青汁の原料に採用。機能的表示食品の「よくばり明日葉青汁」として、今年6月から販売を始めた。

永源寺マルベリーのスタッフは、地域の高齢者や障害者、外国人ら20人で、60歳以上が4分の3を占める。最高齢の門阪季平さん(89)は、発足時から携わるムードメーカー的な存在だ。「体はえらいけど、みんな話しながら作業するのが楽しい。私らの作ったもんを買ってくれる人がいたら、やっぱり励みになる」と笑顔で語る。

吉澤代表は「地域おこしのためにも、今後も2年に1度は新たな商品開発ができるよう前向きに取り組みたい」と話している。

「よくばり明日葉青汁」は30本入り1箱2750円(税別)。DHC公式ネットショップなどで販売している。

竜王町議選 あす投票開票

竜王町議選(定数12)は15日、投票開票される。同日深夜には新議員が決まる見通し。

現職6、新人9の計15人が立候補。党派別では、国民民主1、共産1、無所属13。若者の定住、子育てや教育環境、高齢者福祉の充実、防災対策などを争点に舌戦を繰り広げている。投票は午前7時から午後

ダイオキシシン類 協定基準上回る

大津のゴミ処理場

大津市は13日、市環境美化センター(膳所上別保町)の焼却炉の排出ガスから、地元との協定基準(1立方メートルあたり1ナ・ダ)を超える3ナ・ダのダイオキシシン類が検出されたと発表した。国基準(5ナ・ダ)よりも低く、周辺環境への影響はないとしている。発表では、8月1日に採

高島	彦根	大津	天気
20	20	30	南部(あま) 南部(あま) 北部(あま) 南部(あま)
午後	午後	午後	午後
夜	夜	夜	夜
降水確率	降水確率	降水確率	降水確率

00歳以上県内96人 23年連続増

は08年5月上
イハツ・ミラ